

つばさ新聞

在宅医療を経験して・・・ 倉敷中央病院より研修で来ていただいた佐藤亮寿先生。3か月間を振り返っていただきました。

倉敷中央病院呼吸器内科専攻医の佐藤亮寿です。これまで肺癌や間質性肺炎の患者様を多く診療し、終末期にかけてつばさクリニックを含めた在宅診療所に紹介させていただきました。しかし、在宅でどの程度の診療ができるのかわからず、「在宅で毎日点滴はできない」や「在宅酸素はすぐに準備ができない」などの誤った知識で、迅速な自宅退院を妨げていました。今後はつばさでの経験を活かして、急性期病院から在宅診療へスムーズな連携ができればと考えています。また、呼吸器内科では経験できない胃瘻交換、褥瘡管理、巻き爪治療の診療を経験し、医師としての幅が広がったと思います。さまざまな患者様の診療に携わらせていただき誠にありがとうございました。



救急救命講習

言語聴覚士を対象に救急救命講習を実施しました。当院の【救急看護認定看護師】の資格を有したスタッフが講師を務め、実際に人形を使っでの講習を行いました。



6時間リレーマラソン

令和5年10月15日に開催されたトマト銀行6時間リレーマラソンに出場しました。チームで総走行距離66kmを走りました。あっという間の6時間でした。



BCP（事業継続計画）策定研修会に参加しました

倉敷市医師会が主催している「診療所・病院BCP策定ワークショップ」に参加しました。災害などの緊急事態に遭遇した時に被害を最小限に抑え、重要な業務を継続し早期復旧を図ることを目的に策定するBCP。自然災害のみならず、昨今増えているサイバー攻撃などにも備えておく必要があります。



つばさクリニック つばさクリニック岡山

定期訪問 午前9時～午後5時 緊急往診 24時間対応

診療科目 訪問診療・内科
循環器科・呼吸器科・整形外科
〒710-0047
岡山県倉敷市大島534-1
TEL 086-424-0283
HP: www.tsubasa-clinic.net

診療科目 訪問診療・内科・小児科
〒700-0026
岡山県岡山市北区幸還町1-7-7
TEL 086-254-0283
www.tsubasa-okayama.net

理事長のコメント

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては健やかに新年をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。

昨年とはどのような一年でしたか？もし昨年一年間を漢字一文字で表すならば何の漢字が当てはまりますか？私の昨年を表す漢字一文字は「健」です。患者さんの在宅療養を24時間365日で支える在宅医として、「自分の健康を維持することは重要」です。そこで、昨年は一念発起して岡山マラソンにエントリーし、健康のために走る事を決意しました。練習とダイエットを開始し、大会当日には成人になって以降、最も軽い体重になりました。初マラソンだったのですが、無事完走することが出来ました。

今年も患者さんの在宅療養を全力で支える事が出来るように、「健」を意識して健康な身体の維持を目指します。そして、今年も岡山マラソン完走を目指します。

皆様にとっての一文字もぜひ教えてください。（医療法人つばさ 理事長 中村 幸伸）

新人職員紹介



医師 木村 真弓 出身地：岡山市

趣味：DIYや手芸、料理などモノづくりが好きです。実は管理栄養士の免許も持っています。なぜ医師に？：管理栄養士を目指していた学生時代に「人間の身体のことをもっと理解したい」と強く思い、管理栄養士の免許をとったのち、本格的に医師を目指しました。最後に：念願の在宅医療に関わってうれしく思っています。気軽に相談できる医師であるよう頑張ります。



言語聴覚士 疋田 紋子 出身地：宮崎県

好きな食べ物：肉。宮崎では鶏を食べることがポピュラーでした。ストレス解消法：お酒が好きで毎晩の水筒で酔っ払っています。なぜSTに？：高校生の時、病院見学に行った先で出会ったSTさんに憧れました。目に見えない顔の様子(障害)などを動きや言動から判断してリハビリしている姿をみてかっこいい！って。最後に：患者さんにとって良いサポートができるように頑張ります！気軽に相談ください。



事務 池 彩加 出身地：愛媛県

趣味：読書。子供の頃から好きです。最近は生活や仕事に役立つような本が目につきます。ストレス解消法：歌を歌うこと。家でも歌っちゃいます。最後に：在宅医療には初めて関わります。たくさん勉強しながらですが一生懸命頑張ります。よろしくお願いたします。



事務 大西 泉 出身地：倉敷市

好きなこと：ムーミンと旅行のスケジュールリング。スケジュールを考えているときが一番楽しいかもしれません。在宅医療の印象：クリニックの中でも「〇〇さんはこんなことをしたら喜んでくれるのでは？」など病室とは直接関係のない会話を日常的に聞いて、心に寄り添っているなと感じました。最後に：私も周りの先輩方を見習いながら一生懸命頑張ります。



想いでエピソード

つばさクリニック岡山 看護師 小泉 知子

私が在宅医療に初めて触れたのは看護学生の頃でした。その時のエピソードをご紹介します。60代の進行性疾患を患っておられた男性の患者さんの訪問看護に実習生として伺った際のお話です。病気の進行によってひとりではお風呂に入れない状態だったため、訪問看護師が入浴介助の為に訪問する必要がありました。しかし、その方は恥ずかしさからか、「風呂には入りたくない！ほっといてくれ！」と断固拒否の態度で、奥様も困り果てていました。そんな中、訪問看護師さんが「奥さんから聞きましたよ？たくさん旅行に行かれたそうですね。どこが良かったです？教えてください！〇〇ですか！？あそこの温泉はいいですよえ・・・。」と、楽しく話をしているうちに患者さんはどんどん笑顔になっていきました。気づくとお風呂へ向かっているではありませんか！お風呂場でも患者さんの話は尽きず、最後には「また頼むわ。」と言ってもらいました。そして、よほど気持ちよかったのか、頭を乾かしている最中に寝てしまいました。すると奥様がお茶をもってきてくれて、「だいふく痩せました。やっぱり病気は進んでいるのよね・・・。」と不安を吐露されました。細かなやり取りは覚えていませんが、訪問看護師さんがそこからじっくり時間をとって奥様から病状の変化や体調を聴き取りながら不安を受け止めておられました。

私は、この実習期間中、訪問する先々の患者さんやご家族が、その訪問看護師さんに対して強い信頼を寄せていると感じさせられました。その訪問看護師さんの看護を実施している間の空気感がとても心地よく、皆で笑い合っている光景が強く印象に残っています。

この時の経験が私の在宅医療への強い関心につながりました。当院での看護師としての業務は、学生の頃に出会った訪問看護師の仕事とは異なりますが、より良い診療と本人が過ごしたいスタイルを守るため、患者さんやご家族、他事業所の皆さんと輪を成す橋渡しの役割があります。これからもおうちでの生活を支えるチームの一員として在宅医療に携わり続けていきます。

MSWのひとこと ~相談窓口~

介護が必要となった時、たくさんの悩みや不安が生じると思います。これらの相談窓口として居宅介護支援事業所と地域包括支援センターがあります。この2つはそれぞれどのような役割を担っているのかをお話しします。

まず、居宅介護支援事業所ですが、介護認定が下りた方を対象にケアマネジャーが介護プランを作成・サービスの実行に繋げていくところです。簡単に言えば、ご自宅で生活しながらデイサービスや訪問介護などの介護サービスが使えるよう、段取りをしてくれれます。

一方、地域包括支援センターは、地域にお住いの高齢者の見守りや介護・福祉・医療などの相談窓口を担っています。「介護保険を申請したい」「家族の一人暮らしに不安を感じる。」「介護が大変になってきた。」「お金の管理が難しい。」などの「こんなときどうしたらいい？」という様々なご相談に対応しています。

当院では、在宅患者さんの状態や生活状況などを、これらの事業所の方々と必要に応じ情報共有を行います。患者さんにとって最適な療養環境を目指した提案を心掛けています。また、当院の「医療ソーシャルワーカー」も、当院がかりつけの在宅患者さんに対して、介護保険の有無に関わらず、介護・福祉・医療に関する様々な相談の窓口として対応しています。在宅療養をする中で、患者さんご本人だけでなく、ご家族も様々な悩みを抱える方がいらっしゃると思います。そのような際には、まず当院の「医療ソーシャルワーカー」にご相談ください。

MSW (医療ソーシャルワーカー)とは・・・
医療・介護・福祉に係る制度など、専門的な知識を持っている医療現場で活躍する相談員です。



Dr. 岡田の南極物語リターンズ



第16回：南極観測隊医療隊員の資質についての考察（後編）

南極観測隊の医療隊員に必要な資質についての後編です。⑥中立な立場がとれる：閉鎖された環境で生活する南極では人間関係のトラブルが発生しやすい。そんな中、医療隊員は他の隊員と相談相手になるケースが多い。事前に問題を回避する役割もあり、常に中立な立場、一歩引いた立場（目線）で接する必要がある。傾聴力（話し掛けられやすさ）や状況判断能力も求められる。⑦偉そうになってはいけぬ：南極観測隊において医療隊員は設営部門の一職種に過ぎず、医者にありがちな上から目線であったり、偉そうな態度をとることは許されない。ちなみに医療隊員は名前に「ドク」をつけて呼ぶのが通例で、僕は「岡ドク」と呼ばれている。⑧好ましい性格：南極では外交的で、前向き、ポジティブ思考、明るいとといった性格が重宝される。僕自身の性格には当てはまらない部分も多いが、ユーモアや忍耐力によって補うよう努力している。⑨その他：ドーム旅行隊では「食べ物の好き嫌いが無い」「どこでも眠ることができる」も重要である。また2か月以上お風呂に入れないことから「きれい好きでない」「臭くても気にならない」を持ち合わせていれば最強である。ただ「体が臭い医療隊員ってアリなのか」という意見もある。僕の勝手な考察であるが、経験者だからこそ見えてくるものばかりで、これから南極観測隊の医療隊員を志す人たちに参考になるのではと思っている。ドーム旅行の復路は残り470km。旅はまだ続く。



在宅生活をサポートする
医療・介護サービスのご紹介

歯科医師会



倉敷歯科医師会 歯科衛生士 友田 由美子

歯科医師会は全国に存在しており、様々な活動に取り組んでいます。当会においては、150名の歯科医師会員で運営し、日曜祝日の急患を対象とした休日診療や障がい者への歯科診療などを行っています。また、歯の健康フェア、介護保険セミナーを通じて皆様にお口の健康の大切さを伝える活動にも取り組んでおり、健康教室や介護予防教室の講師派遣なども行っております。

さらには、倉敷市の委託を受け、「お口の健康アップ事業」として、在宅患者さんの歯の健診事業にも取り組んでおります。これは、「年齢問わず、疾病や障がいにより歯科医院への通院が困難であり、健診の受診が可能な方」が対象で、歯科医師と歯科衛生士がご自宅に訪問し、歯科健診を行います。健診に関する費用は掛かりません。

健診を受けると、義歯の調整や口腔ケアなどの処置が継続的に必要になる方が多くいらっしゃいます。また、摂食・嚥下機能を回復する為に継続的なサポートが必要な方もいらっしゃいます。

お口の事で気になる事があればいつでもご相談ください。



一般社団法人 倉敷歯科医師会

〒710-0057 倉敷市昭和2丁目2番17号

TEL 086-251-6505

大森 潤会長